

新校舎落成式児童代表のことば

鹿折小学校 六年 菅野 匠

新しい鹿折小学校の校舎、そして校庭ができあがりました。僕たちは、この新しい鹿折小学校の完成をずっと待ち望んでいました。校舎と校庭の完成に当たり、たくさんの方々にお世話になりました。工事関係の皆さんや、震災に当たりたくさんの方々の支援を頂いた。工事関係の皆さんや、震災に当たりたくさんの方々の支援を頂いた。色々な方々など、僕は感謝の気持ちでいっぱいです。思い起こせば、僕たちが三年生の時でした。新しい校舎で勉強を始めたばかりだったのに、津波の被害を受け、校舎の一階が使えなくなってしまう。た。あまりにひどかった。僕が、（これじゃもうだめだ。）と、思ってしまった。

ところが、たくさんの方々の工事関係の皆さんとご支援頂いた皆さんのおかげで、震災前と同じように立派な校舎、そして新しい体育館と校庭が完成しました。僕は今、新しい学校で勉強できることの喜びとこれから一生懸命に頑張っていかなければ、という使命感でいっぱいです。

震災の後、たくさんの方々の友達が転校していきました。転校していった人たちも、きっと、この新校舎に入って、友達と遊んだり、勉強をしたり、給食を食べたりしたかっと思えます。僕は、孫さん友達の気持ちを大切にしたいと思っています。新しい学校で生活することを喜ぶだけでなく、学校を建てるために頑張ってもらいた。皆さん、そして、転校していかなければならなかった友達、多くのひとたちの思いを大切にしていきたいです。

また、新しい鹿折小学校が鹿折だけでなく、気仙沼、そして、日本の復興のシンボルになったらいいなとも思っています。そのため、僕たちができることを今、一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。